

事業所における自己評価結果(公表)

【放課後等デイサービス】

公表: 5年 2月 1日

事業所名: 放課後等デイサービスQ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			利用人数に応じて活動場所を2カ所に分け密を避けるようにしている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	○			定員10名に対して職員4~5名を配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○			事業所の階段には手摺と滑り止めを設置して安全に配慮している。今後も階段等の声かけは継続して行っていく。
業務改善	4	業務改善を進めるための、PDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○				
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				ホームページに記載。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		第三者による外部評価は行っていない。重要事項説明書に記載している。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			定期的に研修の機会を設けて、虐待防止・子供たちの支援の在り方・福祉についての勉強会を行っている。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			定期的に個別支援会議を開き、半年に1度面談を行い個別支援計画書を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動プログラムは、新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら、子供たちが楽しめる活動を職員全員で立案している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			たくさんの経験を通して学ぶ場と子供たちの興味を引き出せるような活動を考えて固定化しないように工夫している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			平日は、個別支援・公園遊び・室内レクを実施。休平日や長期休暇は、制作活動・生活訓練・運動など、活動内容の立案を作成し活動の目的と安全に活動できるように取り組んでいる。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個別と集団を適宜組み合わせるサービス計画を立てている。また、小学生と中学生で分けて、それぞれの年齢に応じた活動も提供できる機会を作っている。	
	15	支援開始前に職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝、朝会を行い、送迎・活動内容・利用者支援の共通理解が図れるように打ち合わせを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			保護者様からのメールや連絡帳での報告やその日のうちに取り組んだ様子(個別支援等)や気づいたことを共有メールで送り、共通理解が図れるようにしている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日の業務日誌、保護者様との連絡帳やメールのやり取りを行うことで、支援の検討、改善に努めている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			少なくとも年に2回以上、定期的にモニタリングを行い、計画内容進捗状況を確認して、必要に応じて支援の内容を変更している。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○			公園・室内等でのレクリエーションを通してルールの理解、集団行動が行えるように活動している。		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			主に児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校の送迎時に情報共有・連絡調整を行い保護者様への確認を行っている。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	主治医と直接関わる機会がない為、保護者様へアプローチをして状況把握をしている。	
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○		
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか	○				保護者様や担任の先生に、事業所内での本人の状況・情報を伝えて卒業後に役立つ情報を提供しているが、コロナ禍の為、職場での様子を拝見できていない。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○		新型コロナウイルス感染防止の為、設けていない。今後コロナ状況を見ながら交流する機会を検討する。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか			○		参加していない。
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時やメールを利用して、保護者様とコミュニケーションとり気になったことを伝え共通理解が図れるようにしている。活動時の動画や写真をメールで送りお子様の様子を伝えている。	
保護者への説明責任等	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			送迎時などに利用者様への接し方や言葉かけの内容を伝えている。	
	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時、重要事項説明書をもとに支援内容(個別支援含む)利用者負担などについて説明を行っている。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時や面談を通して、メンタルも含めた利用者様の様子を聞き、事業所内での様子をお伝えし、助言できる場合は助言させて頂いている。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○		新型コロナウイルスの状況を見ながら、保護者様同士が連携を図れる場を提供できるように検討したいと思います。運動会のようなお子様も一緒に活動参加型で連携を図れたらと考えています。
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				職員間で共通理解し、同じことを繰り返さないように、どのように対応していくかを話し合い対応している。
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			活動予定を月に1回発行している。また、連絡帳やメールを通じて必要な事項をお伝えしている。	
	35 個人情報に十分注意しているか	○			PCにセキュリティソフトをインストール済。	
	36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			支援ツールを使って支援にあたっている。(絵カードなど)	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		機会がなくな行っていない。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		地震・火災や不審者対策として避難訓練を活動で取り入れたり、コロナ対応策を周知して頂く為に、メールやプリントを配布して対応している。	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルは策定しているので保護者様に周知して頂けるように配布を行う。
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			必要な避難訓練は活動で取り入れている。一年に1回は消防隊の方と火災の訓練に取り組んでいる。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			1年に1回鹿児島市が主催する虐待防止の研修に参加している。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			保護者様にご理解を頂いた上で、身体拘束の同意書を頂いた上で個別支援計画書にも記載している。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○			アレルギーについては、アセスメント時に情報を聞いて個別に把握している。現在、医師の指示書を得る利用者様はいない。
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			合同・事業所会議で共通理解し、支援時に対応している。	

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)